



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
 コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

(氏名) 中村 克久  
 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	64,529	△6.6	1,002	△13.7	1,080	△8.0	686	32.1
28年3月期第3四半期	69,089	△7.2	1,162	9.2	1,174	9.3	519	△49.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 918百万円 (51.7%) 28年3月期第3四半期 605百万円 (△47.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	26.14	—
28年3月期第3四半期	19.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	46,528	11,860	24.8
28年3月期	44,992	11,131	24.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,526百万円 28年3月期 10,820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	6.4	2,200	13.9	2,100	9.8	1,200	16.8	45.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	26,628,000 株	28年3月期	26,628,000 株
29年3月期3Q	313,934 株	28年3月期	398,813 株
29年3月期3Q	26,273,848 株	28年3月期3Q	26,318,538 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成28年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境において改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国経済の減速や為替相場の急激な変動による企業収益への影響が懸念されるなど、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはグループ総合力を発揮し、収益力の強化、財務体質の改善等に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は645億29百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は10億2百万円（前年同期比13.7%減）、経常利益は10億80百万円（前年同期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億86百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## (電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連におけるレーザ加工機や建築設備関連の空調冷熱設備の受渡しは堅調でしたが、FA機器製品の販売は伸び悩みました。

以上の結果、売上高は165億19百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は6億63百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

## (機械関連事業)

機械関連事業では、産業機械において食品機械関連設備が好調に推移し、農業施設において穀類等貯蔵施設工事などが堅調であったことから前年同期比で大幅な増収となり、セグメント損益も改善いたしました。

以上の結果、売上高は48億75百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント損失82百万円（前年同期はセグメント損失2億10百万円）となりました。

## (建材・燃料関連事業)

建材事業では、土木資材、生コンの受注・受渡しは前年並みで推移したものの、首都圏における民間工事の着工遅れや官庁向け工事物件の減少等により苦戦いたしました。

燃料事業では、SS（サービスステーション）でのガソリン販売において市況に改善傾向が見られるものの、収益面では厳しい状況が続きました。

以上の結果、売上高は284億15百万円（前年同期比11.5%減）、セグメント利益は1億77百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

## (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、輸入炭の取扱いは好調でしたが、鋼材・木材・セメントなど建設資材の取扱量に大きな回復が見られず、前年同期比で減収減益となりました。

以上の結果、売上高は122億14百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は3億10百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

## (建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、コンクリートポンプ車の販売は堅調に推移しましたが、道路工事量の減少により物件の引合い・受注が低調であり、大幅な減収となりました。

以上の結果、売上高は25億4百万円（前年同期比37.4%減）、セグメント利益は48百万円（前年同期比67.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は465億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億36百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加19億96百万円であります。

負債は346億68百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億7百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債のその他に含まれる前受金の増加7億81百万円であります。

純資産は118億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億28百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加し、24.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,328	8,324
受取手形及び売掛金	22,697	21,569
商品及び製品	673	772
原材料及び貯蔵品	19	24
その他	1,522	1,978
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	31,230	32,660
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,740	5,706
その他(純額)	3,516	3,307
有形固定資産合計	9,257	9,013
無形固定資産		
	134	315
投資その他の資産		
その他	4,378	4,547
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,370	4,539
固定資産合計	13,762	13,868
資産合計	44,992	46,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,182	22,474
短期借入金	2,000	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,750	1,654
1年内償還予定の社債	—	200
未払法人税等	314	108
賞与引当金	357	82
工事損失引当金	44	44
その他	1,403	2,529
流動負債合計	28,052	28,894
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	1,985	2,180
役員退職慰労引当金	17	—
特別修繕引当金	53	71
退職給付に係る負債	1,178	1,171
損害賠償引当金	315	—
その他	2,058	2,349
固定負債合計	5,808	5,774
負債合計	33,861	34,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,288	1,288
利益剰余金	6,997	7,472
自己株式	△115	△89
株主資本合計	10,524	11,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283	446
繰延ヘッジ損益	△2	2
退職給付に係る調整累計額	14	50
その他の包括利益累計額合計	295	500
非支配株主持分	310	333
純資産合計	11,131	11,860
負債純資産合計	44,992	46,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	69,089	64,529
売上原価	62,623	58,022
売上総利益	6,466	6,506
販売費及び一般管理費	5,304	5,504
営業利益	1,162	1,002
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	37	56
受取賃貸料	51	51
持分法による投資利益	18	17
厚生年金基金解散損失戻入益	—	75
その他	22	20
営業外収益合計	140	227
営業外費用		
支払利息	85	85
損害賠償金	—	25
その他	41	38
営業外費用合計	127	149
経常利益	1,174	1,080
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	—	18
特別利益合計	—	26
特別損失		
課徴金	27	—
損害賠償金	315	—
減損損失	—	29
特別損失合計	342	29
税金等調整前四半期純利益	832	1,077
法人税、住民税及び事業税	232	272
法人税等調整額	81	95
法人税等合計	313	368
四半期純利益	518	709
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	519	686



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	518	709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	166
繰延ヘッジ損益	△2	5
退職給付に係る調整額	18	36
その他の包括利益合計	86	209
四半期包括利益	605	918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	605	891
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	16,518	3,861	32,114	12,593	4,002	69,089	—	69,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	383	4	21	413	△413	—
計	16,518	3,867	32,497	12,597	4,023	69,503	△413	69,089
セグメント利益又は セグメント損失(△)	757	△210	237	368	148	1,301	△139	1,162

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△144百万円、セグメント間取引消去額5百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	16,519	4,875	28,415	12,214	2,504	64,529	—	64,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76	0	289	10	10	386	△386	—
計	16,595	4,875	28,705	12,224	2,515	64,915	△386	64,529
セグメント利益又は セグメント損失(△)	663	△82	177	310	48	1,116	△113	1,002

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には各セグメントに配分していない全社費用△115百万円、セグメント間取引消去額1百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。